



平成30年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社ダイイチ
 コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	10,641	1.3	450	14.1	450	14.0	262	80.0
29年9月期第1四半期	10,501		524		524		1,313	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	45.88	
29年9月期第1四半期	229.88	

(注) 1. 四半期純利益の前年同期実績値との差異の主な要因は、平成29年9月期第1四半期において、当社の連結子会社である株式会社オーケーを平成28年10月1日付で吸収合併したことに伴う「抱合せ株式消滅差益」957百万円の計上により一時的に特別利益が発生しましたが、平成30年9月期第1四半期においては発生しませんでした。

2. 当社は、平成28年9月期第1四半期は連結業績を開示していましたが、平成29年9月期第1四半期より非連結での業績を開示しておりますので、平成29年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	18,427	10,440	56.7
29年9月期	17,537	10,293	58.7

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 10,440百万円 29年9月期 10,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		20.00	20.00
30年9月期					
30年9月期(予想)		0.00		22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,387	3.6	726	8.5	721	9.0	469	68.6	82.10
通期	40,590	4.0	1,376	0.6	1,380	0.5	897	51.0	157.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年9月期1Q	5,719,320 株	29年9月期	5,719,320 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年9月期1Q	6,043 株	29年9月期	6,043 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

30年9月期1Q	5,713,277 株	29年9月期1Q	5,713,277 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の復調を背景とした輸出の伸長、堅調な企業業績による設備投資の増加などにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社を取り巻くスーパーマーケット業界は、個人消費は底堅く推移する一方で、依然として食品や日用品などに対する節約志向が根強いうえに、各地域における競合の激化など、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもとで当社は、変化するお客様のニーズに対応した店作りへの取り組みとして、安全で安心な商品と地域の特性に合わせた品揃え、付加価値の高い商品の最適価格での提供などにより、地域における商圈シェアの拡大に努めるとともに、「凡事徹底」を行動の基本とし、「スクラップ&ビルドの推進と新規出店」、「コア商品の拡大と接客サービスの向上」、「商品本部の強化と販売促進企画の進化」、「人時生産性とコンプライアンスの向上」、「人手不足への対応」等を重点実施事項に掲げ、店舗競争力の強化と企業価値の向上に取り組んでまいりました。

また、販売力の強化策として、生鮮食品の鮮度・品質・品揃えの強化、加工食品の品切れ防止の徹底、コア商品の開発強化を図っております。

店舗の状況につきましては、平成29年10月にドミナントの強化を図るため、旭川ブロックにおいて「豊岡店（売場面積1,766㎡）」を新規出店いたしました。また、お客様の利便性を高めるため、10月に「白樺店（帯広ブロック）」を改装開店、11月に「東光店（旭川ブロック）」を移転増床し開店いたしました。

株式会社イトーヨーカ堂との取り組みにつきましては、共同販促の更なる推進とともに、商品政策を中心に業務の連携強化を図り、競合各社との差別化と商品力の強化に努めております。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは46億53百万円（前年同期比0.8%増）、旭川ブロックは33億13百万円（前年同期比5.1%増）、札幌ブロックは26億72百万円（前年同期比2.0%減）となりました。また、既存店売上高につきましては、消費支出の伸び悩みや同業他社との店舗間競争の激化に加え、東光店の一時休業などにより、前年同期に比べ1.6%減少いたしました。

売上総利益率につきましては、ロス対策と在庫管理の徹底などにより、前年同期と同水準の24.6%となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、新規出店及び既存店舗の改装と移転増床に伴う一時的費用の発生や人件費の増加などにより、売上高に対する比率は、前年同期に比べ0.7ポイント悪化し、21.6%となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は106億41百万円（前年同期比1.3%増）と増収を確保できましたが、営業利益は販売費及び一般管理費の増加により4億50百万円（前年同期比14.1%減）、経常利益は4億50百万円（前年同期比14.0%減）、四半期純利益は、前期に発生した特別利益「抱合せ株式消滅差益（957百万円）」の反動減と移転増床等に伴う特別損失「固定資産除却損（65百万円）」の計上により、2億62百万円（前年同期比80.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ8億90百万円増加の184億27百万円となりました。流動資産においては、主に商品及び製品の増加2億43百万円、売掛金の増加2億24百万円等に対し、その他の減少1億63百万円により、前事業年度末に比べ3億16百万円増加の55億45百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産の建物の増加4億17百万円及びその他の増加1億82百万円に対し、投資その他の資産の長期貸付金の減少20百万円等により、前事業年度末に比べ5億74百万円増加の128億81百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ7億43百万円増加の79億86百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加8億1百万円及びその他の増加2億18百万円に対し、未払法人税等の減少1億54百万円及び賞与引当金の減少1億12百万円等により、前事業年度末に比べ7億37百万円増加の55億30百万円となりました。固定負債においては、その他の増加1億18百万円及び退職給付引当金の増加4百万円等に対し、長期借入金の減少1億15百万円等により、前事業年度末に比べ5百万円増加の24億56百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億47百万円増加の104億40百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加1億47百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は56.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の実績値が当初の想定に概ね沿ったものであるため、平成29年11月6日の「平成29年9月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、第2四半期累計期間の業績予想に対する第1四半期累計期間の実績の進捗状況は、以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期予想 (A)	20,387	726	721	469	82.10
第1四半期実績 (B)	10,641	450	450	262	45.88
進捗率(%) (B)/(A)	52.2	62.0	62.5	55.9	55.9

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,191,015	3,202,046
売掛金	437,187	661,674
商品及び製品	981,399	1,225,387
原材料及び貯蔵品	464	556
その他	621,207	457,616
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	5,229,774	5,545,781
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,602,935	4,020,169
土地	5,441,740	5,441,740
その他（純額）	1,003,624	1,185,981
有形固定資産合計	10,048,300	10,647,890
無形固定資産		
その他	14,490	14,490
無形固定資産合計	14,490	14,490
投資その他の資産		
長期貸付金	1,152,964	1,132,946
その他	1,091,796	1,086,458
投資その他の資産合計	2,244,760	2,219,405
固定資産合計	12,307,552	12,881,786
資産合計	17,537,326	18,427,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,360,000	3,161,842
1年内返済予定の長期借入金	502,589	487,400
未払法人税等	239,003	84,004
賞与引当金	148,413	36,058
その他	1,543,211	1,761,492
流動負債合計	4,793,216	5,530,798
固定負債		
長期借入金	726,892	611,179
退職給付引当金	564,420	568,627
役員退職慰労引当金	151,002	149,701
資産除去債務	16,392	16,445
その他	991,736	1,110,073
固定負債合計	2,450,444	2,456,025
負債合計	7,243,661	7,986,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	7,085,166	7,233,036
自己株式	△2,978	△2,978
株主資本合計	10,287,540	10,435,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,124	5,333
評価・換算差額等合計	6,124	5,333
純資産合計	10,293,665	10,440,743
負債純資産合計	17,537,326	18,427,567

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,501,777	10,641,999
売上原価	7,914,816	8,024,110
売上総利益	2,586,961	2,617,888
営業収入	135,768	132,843
営業総利益	2,722,729	2,750,732
販売費及び一般管理費	2,198,103	2,300,287
営業利益	524,626	450,445
営業外収益		
受取利息	2,827	2,610
受取配当金	208	213
その他	1,162	723
営業外収益合計	4,199	3,546
営業外費用		
支払利息	4,277	2,821
その他	277	187
営業外費用合計	4,555	3,009
経常利益	524,270	450,982
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	957,277	—
特別利益合計	957,277	—
特別損失		
固定資産除却損	2,667	65,823
特別損失合計	2,667	65,823
税引前四半期純利益	1,478,879	385,159
法人税、住民税及び事業税	111,967	67,381
法人税等調整額	53,554	55,642
法人税等合計	165,521	123,023
四半期純利益	1,313,358	262,135

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。